



# 佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート

## 後期が始まりもう2ヵ月！

11月になり、朝夕は冷え込み、昼間は温かいと、何かと体調の管理が難しい時期です。大学院生活も後期の授業が始まり折り返しを迎えようとしています。毎日、慌ただしい生活を送りながらも、秋の深まりを感じ取っています。

さて、「〇〇の秋」と言えば、様々な言葉を思い浮かぶことでしょうか。これだけ多くの言葉で飾られる季節は他にありません。秋はいろいろな面で充実した季節です。心身ともに充実した日々を送り、成果が大きく実る秋にして行きたいです。

## 平成28年度佐賀大学教育学部附属小・中学校教育研究発表会の参観！

11月12日(土)に「21世紀型能力の育成を見据えた義務教育9年間の学び」をテーマに、平成28年度佐賀大学教育学部附属小・中学校教育研究発表会が行われました。



授業実践コースでは、後期の授業の中に「授業実践の研究」があります。その授業実践の分析対象として、中学3年生「美術」・「英語」・「社会」の3つのグループに分かれ、授業を参観させていただきました。

院生の校種・教科は様々ですが、教師として授業の質の向上を目指した授業を実践していくためには、授業を振り返り、課題を明らかにする授業分析は必要不可欠です。校種・教科を越えた授業実践の分析を通して、課題やその成果を共有し、今後の教職生活の実践に活かすことができる発表にできたらと考えています。

## 現職教員の学生が9月の実習を終えての発表を行いました！

教職大学院には、授業実践探究コース3名、子ども支援探究コース1名、教育経営探究コース6名が現職教員として在籍しています。9月の1ヶ月間、授業実践探究コースは「異校種教育実習」、子ども支援探究コース・教育経営探究コースは「関係機関実習」を行いました。今回は、その実習の成果と課題を各コースで発表しました。

授業実践探究コースでは、高等学校の教員は中学校で、小学校の教員は幼稚園で実習を行ってきた実習の内容や成果などを発表し、それぞれの意見交換することができました。この成果と課題を来年度の「学校変革試行実習」に繋げていきたいです。